

シラバス参照

科目名	生活 (R6認定通信)																	
学習方法	テスト																	
単位数	2																	
専攻・コース	免許法認定通信教育 (幼稚園教諭)																	
履修年次	-																	
科目担当者	河野 崇																	
スクーリング担当者	-																	
メディア授業担当者	-																	
レポート添削担当者	-																	
到達目標	生活科の誕生の経緯や意義、目標や内容についての基礎を理解し、生活科の学習を通して子どもたちにどのような資質・能力を育てることが求められているのか、具体的な教育活動はどのようなものかの理解を深めることを目的とします。																	
授業計画	<p>テキストをよく読み、内容を確実に理解してください。そして、生活科では具体的にどのような活動を通して、どのような資質・能力を児童に育むのかを考察してください。</p> <p>第2章「内容」のポイントと解説は第4章の生活科の新授業プランと関連させて一緒に学習を進めてください。そのため、第2回目のエクササイズは第2章の「内容」と第4章と一緒にしています。後述のエクササイズの出題範囲を確認して、指定された章が終わりましたらエクササイズを受けてください。</p> <p>エクササイズの出題範囲・出題数・解答時間 第1回: テキストはじめに、序章、第1章、第2章「目標」のポイントと解説 (1~29ページ) 出題数: 20問 解答制限時間: 30分 第2回: テキスト第2章「内容」のポイントと解説 (30~47ページ)、第4章 (108~167ページ) 出題数: 20問 解答制限時間: 30分 第3回: テキスト第3章 (48~107ページ) 出題数: 20問 解答制限時間: 30分 単位認定試験の出題範囲・出題数・解答時間 テキストはじめに~第4章 (1~107ページ) 出題数: 40問 解答制限時間: 60分</p>																	
成績評価の方法	<table border="1"> <tr> <td>a. 学習方法ごとに「単位認定試験 (100%)」により評価する</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>b. その他</td> <td></td> </tr> </table>	a. 学習方法ごとに「単位認定試験 (100%)」により評価する	○	b. その他														
a. 学習方法ごとに「単位認定試験 (100%)」により評価する	○																	
b. その他																		
	<p>※なお、「スクーリング・レポート」科目など、複数の学習方法を組み合わせて実施する科目については、スクーリングの試験結果 (50%) とレポート・テストなどスクーリングを除く自宅学習の試験結果 (50%) を合計して評価する。</p>																	
実践的教育を行う授業科目の種別	<table border="1"> <tr> <td>a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</td> <td>小学校の教員経験、保育者養成校での勤務経験を基に指導・助言をする。 短期大学、4年制大学にて生活科を担当する。</td> </tr> <tr> <td>授業内容との関連性</td> <td>小学校や保育者養成校での勤務経験に基づいて、生活科の趣旨、内容などの各分野において視点を説明し、学生の理解力の向上を図る。</td> </tr> <tr> <td>b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学外講師の経歴・資格等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>授業内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実習先・実習の目的</td> <td></td> </tr> </table>	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	小学校の教員経験、保育者養成校での勤務経験を基に指導・助言をする。 短期大学、4年制大学にて生活科を担当する。	授業内容との関連性	小学校や保育者養成校での勤務経験に基づいて、生活科の趣旨、内容などの各分野において視点を説明し、学生の理解力の向上を図る。	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		学外講師の経歴・資格等		授業内容		c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		実習先・実習の目的		
a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○																	
担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	小学校の教員経験、保育者養成校での勤務経験を基に指導・助言をする。 短期大学、4年制大学にて生活科を担当する。																	
授業内容との関連性	小学校や保育者養成校での勤務経験に基づいて、生活科の趣旨、内容などの各分野において視点を説明し、学生の理解力の向上を図る。																	
b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目																		
学外講師の経歴・資格等																		
授業内容																		
c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目																		
実習先・実習の目的																		

